

研究構想シート		学校名	雲南市立吉田小学校
		氏名	恩田 拓実
A 研究主題 自分の考えを表現できる児童の育成 ～見通し・対話・ふり返りの学習過程を大切にしたい授業づくりを通して～			
B 研究の目的 自分の考えを相手に分かりやすく伝えられる子どもを育成するための手立てを明らかにする。			
C 子どもの実態 ○考えを伝えることに意欲的だが、文章の内容を確かに読み取ったり、説明したりする力が十分ではない。 ○友達の考えを素直に認められるが、他者の考えと比べたり、交流を通して考えを広げたりすることが苦手。 ○語彙力が不足しており、基礎学力の定着に課題がある。	E 手立て・内容（研究仮説） (研究仮説) ・児童の実態や興味・関心に応じた課題を設定し、学習のゴールや考える視点を明確にすることで、主体的に考えようとする児童が育つであろう。 ・対話の必要性がある課題を設定し、対話の視点を明確にすることで、根拠を明らかにして自分の考えを表現できる児童が育つであろう。 ・ふり返りの視点を明確にし、学びを自覚させることで、自分自身の考えを確かめたり深めようとする児童が育つであろう。		D めざす子どもの姿 ○対話を通して、根拠を明らかにして自分の考えを伝えられる子ども ○ふり返りを通して、自分自身の考えに向き合うことができる子ども
	F 検証方法 「日常の授業」 ○授業における学びに向かう児童の姿、学習に用いたワークシート、振り返りの記述、学習成果物から、児童の変容を分析する。 ○話し合いの様子や発表の様子の記録(タブレットで録画)から、児童の表現する力を見取る。 「授業研究」 ○一人一授業実践における、授業中の児童と指導者の発言内容の分析。		
	G 研究計画 ○一人一授業の実践 ○1学期授業研究 教職6年目研修授業構想・指導案作成・授業実践 ○夏季休業中 授業構想・指導案作成・検討会 ○2学期授業研究 教職6年目研修授業構想・指導案作成・授業実践 ○3学期授業研究 ○授業研究の振り返り		